

～～第8768回～～

至仏山（尾瀬）

～R1. 10. 5-6～

1日目：台風18号の影響により予定が一日遅れ、5～6日の日程となった。レンタカーで安倍川駅を9人で出発する。紅葉はどれくらい期待できるのかとても楽しみである。東名高速から圏央道に入ると交通情報に「渋滞」の文字。やはり高尾山IC付近から八王子JCT迄が渋滞でなかなか進まない。台風が去り紅葉の時期と重なったのか、この渋滞を通り抜けるのに約1時間弱予定をオーバーしてしまった。ようやく関越道に入り、空模様を気かけながら進む。青空とは言えないが雨の心配はなさそうである。尾瀬戸倉駐車場から鳩待峠迄タクシーを利用する。運転手によると「昨日の強風で葉が飛ばされてしまい、落葉した木が多く、今年の紅葉は例年のようには色が付かないまま散ってしまうのではないかな」との事。鳩待峠迄の乗車時間が長かった事もありストレッチを入念に行う。紅葉の色付きを期待しながら、鳩待山荘の裏にある登山口から木の階段を登る。前日の雨で足元が悪く、気を付けて歩くのだが枯葉で滑りそうになる。樹林帯では先ほどの話の通りに落葉がとても多く、落ちた葉はとても色鮮やかでちょっと残念だ。そんな中でも木の幹に絡んだツルの葉は淡いオレンジ色や赤味がかかった色で、まるで誰かが飾り付けたかのように可愛らしく見える。ぬかるんだ樹林帯を通り抜けるとうって変わって開けた湿原に出る。一面の黄金色の景色。水芭蕉の咲く時期とはまた違った尾瀬に感動する。草紅葉の風景を楽しみながら横田代でお弁当を広げる。再び木道を歩きながら中原山へ。ここには三等三角点があった。周りの景色に目を向けようとしては足元が覚束なくなり、木道から落ちそうになる。古くなった木道も有り、危険なので足元を見ながら歩く。アヤマ平には池塘が多く、水面には青空や遠くの間々が写し出されてとても美しい。アヤマ平ではミタケスゲの植生保護がされているようで、その看板が所々に見られた。富士見峠にある富士見小屋は利用者数が年々減り、閉館して3年目とか。ボロボロで崩れそうな廃屋だった。見晴へは八木沢道を下る。鳩待通りの整備された木道とは一変して道が悪い。八木沢橋を渡り、ここからは少しでも遅れを取り戻そうと少々急ぎ足で進み、16:00過ぎにようやく山小屋に着いた。山小屋で入浴できる事がとても有り難く、サッパリしたところで反省会？夕食、おしゃべりタイムと楽しい一日目だった。

2日目：「おはようございます、雨は？」の挨拶で5:00起床。どうやらカップの出番らしい。部屋でのストレッチをおこない、その後に朝食を摂り、至仏山を目ざして6:50に出発する。開放感溢れる黄金色の高層湿原の中を進む。咲き終えたキンコウカはまるで稲穂のよう。ヤマドリゼンマイの色落ちした茶褐色が、廻りの草紅葉を一段と引き立てて、その存在感を現している。所々で古くなった木道は新しく修復されて歩き易い。途中、池塘には2羽のカモが気持ち良さそうに泳いでいた。ヒツジグサも淡い色を付けて愛らしく浮いている。原の上川原橋を渡った先の白樺は幹の白さと黄色く色付いた葉っぱのコントラストが絶妙だった。薄日が差しては消え、山々には雲が垂れ込めてどうやら雲行きが怪しい。至仏山荘前で休憩を取り、登山口に入ると1本の鮮やかな紫色のトリカブトが迎えてくれた。ここから階段を登って進むが、チョロチョロと水が流れて

いる。足元は滑り易く危険である。古い木の階段は斜めに傾いていたり、泥が付いていたり。慎重に慎重を重ねるがやはり滑ってしまう。頼みの綱のストックもツルンと滑り当てにならず。ハラハラ、ドキドキしながら同じ状況が暫く続く。中腹辺りの安全な場所で休憩を取る。後を振り返るとここは絶景ポイントだった。尾瀬ヶ原が見通せ、色とりどりに染まった木々も良く見える。感動に浸るのはここ迄。また気を引き締めて歩き出すも、ぬかるんでいる水溜りの所では足の踏み場に困ってしまう。岩をしっかり掴んで足が滑らないように焦らず登っていくが、至仏山は蛇紋岩地帯という事で岩自体が滑り易い石との事。鎖場を3ヶ所程通過し、ホッと息をつく。岩場を登り切ってやっと山頂が見えてきた。あと少しと心の中で励ましながらついに登頂。ゴツゴツとした大きな岩場だけの山頂である。二等三角点が設置されていて、また「至仏山」と彫られている立派な標柱が建っていた。その前でお楽しみの昼食を摂る。下りは、上り以上に注意を払いながら歩く。段差のきつい岩場、狭い岩場などの通過は中々大変である。そして小至仏山に着く。そこから更に下っていくと岩場も終わる。平らになったところで休憩を取っていたグループがいた。大阪からきて燧ヶ岳・至仏山と登り、これから下山後に温泉泊とは羨ましい。見知らぬ登山者との情報交換は楽しい。ここからさらに下って鳩待峠に16:00過ぎ。帰りもまたタクシーで駐車場へ戻る。途中で入浴、食事を済ませ安倍川駅に22:00過ぎと遅めの帰着となった。山の鼻からの直登コースは小雨で滑りやすく、少々怖かったが怪我することもなく、思い出に残る楽しい山行だった。

参加者：9名（静岡西）

天気：①晴れ ②曇り時々雨

地図：至仏山・三平峠・燧ヶ岳・尾瀬ヶ原

コースタイム：安倍川駅前 500＝尾瀬戸倉 1020＝鳩待峠 1055-1105…横田代 1220-45…アヤマ平 1325…富士見峠 1350…八木沢橋 1530…見晴(泊)1610-650…竜宮十字路 720…牛首分岐 755…山ノ鼻 835…至仏山 1250-1315…小至仏山 1405…鳩待峠 1600＝尾瀬戸倉 1640＝安倍川駅前 2235

記録：静岡西支部 渡辺桂子